

▲「安全上のご注意」(必ずお読みください)

- ① 片壁への施工に必要な材料をキットにした製品です。
  - ② 国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、適切な品番を選び正しく施工してください。
  - ③ 「耐火パック」は柔軟性がありますので、分解・切断等をせずそのままご使用ください。また、袋が破損した場合は、充てん材が流れないようにプラスチックテープなどで補修してご使用ください。
  - ④ 先のとがったもの(ドライバーなど)を使用しての充てんは行わないでください。袋が破れ充てん材が流出する可能性があります。万一、袋が破れて充てん材が目に入った場合は、直ちに流水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。皮膚に付着した場合はよくふき取り、石鹸で洗浄してください。
  - ⑤ 「耐火パック」を充てんする工法のため、開口径一杯に配管した場合施工できません。開口部の大きさには余裕をもたせてください。
  - ⑥ 配管の支持・固定は貫通部の前後で別途必ず行ってください。支持・固定が不十分な場合、「耐火パック」がずれたり隙間を生じる恐れがあります。
  - ⑦ 屋外でご使用の場合は、直射日光や雨水があたらないように処置してください。
- 注：本製品は(一財)日本消防設備安全センターの評定を取得していません。

## 国土交通大臣認定

国土交通大臣認定	構造	厚さ	開口径	鋼製スリーブ
PS060WL-0841、1127、1127-1、1127-2、1127-3	片面強化せつこうボード重張 / 軽量鉄骨下地間仕切壁	42mm 以上	φ 160mm 以下	厚さ 0.25mm 以上 長さ 100mm 以上

国土交通大臣認定書、施工要領書、仕様書およびカタログが弊社ホームページからダウンロードできます。片壁の詳細については、認定書にてご確認ください。

## キット仕様

品番	適合開口径 (mm)	イチジカン耐火パック2片壁キット 構成材料(数量)									
		耐火パック	支え金具	バックアップ材 (mm)		押さえ金具	ラクスリーブ	押さえプレート	固定用ビス (M4×30)	取扱説明書	工法表示ラベル
				(25×25×200)	(25×25×300)						
NPQ50KK	φ 50 ~ 55	1袋	1個	1本	—	1個	1組	1組	4本	1枚	1枚
NPQ75KK	φ 75 ~ 80			—	1本						
NPQ100KK	φ 100 ~ 110			2本	—						
NPQ125KK	φ 125 ~ 135		2個	1本	1本						
NPQ150KK	φ 150 ~ 160			—	2本						

## 適用配管

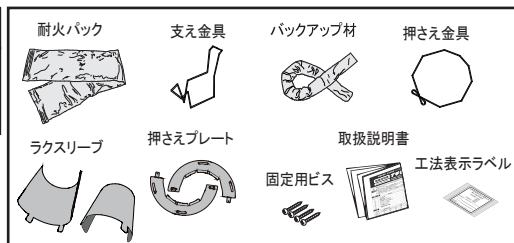
用途	配管の種類	占積率 59.2%以下	
		最大サイズ (mm)	
		配管・ケーブルサイズ	被覆厚
空調管	銅管*1 (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)	φ 54.0 以下	20 以下
	銅管 (被覆材：発泡合成ゴム*2)	φ 54.0 以下	38 以下
	アルミニウム管 (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)	φ 19.1 以下	20 以下
	結露防止層付硬質塩化ビニル管	φ 76 以下	—
	被覆付可とう塩化ビニル管 (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)	φ 37 以下	6 以下
	可とうポリエチレン管	φ 22 以下	—
電線管	合成樹脂製可とう電線管	PF管	φ 64.5 以下
		CD管	φ 42 以下
	波付硬質合成樹脂管 <FEP>		φ 65 以下
	硬質塩化ビニル電線管 <VE,HIVE>		φ 89 以下
	金属可とう電線管 (ビニル被覆あり又はなし)		φ 110.1 以下
給水管 排水管	合成樹脂製可とう管 <さや管> (ポリエチレン)		φ 42 以下
	ポリエチレン管 <架橋 / 耐熱含む> (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)		φ 27 以下
	ポリブテン管 (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)		φ 27 以下
	ウレタン層付ポリブテン管		φ 38 以下
	金属強化ポリエチレン管 (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)		φ 25.1 以下
	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP,VU,HVP,HT) (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)		φ 114*3 以下
	オレフィン系エラストマー被覆付ポリエチレン管 <架橋 / 耐熱含む>		φ 31 以下
	オレフィン系エラストマー被覆付ポリブテン管		φ 31 以下
	外傷防止被覆付ポリエチレン管 <架橋含む>		φ 32.8 以下
	外傷防止被覆付ポリブテン管		φ 32.8 以下
追い焚き管	ペアポリエチレン管 <架橋含む> (被覆材：発泡ポリエチレン他*2)		φ 13 以下
	ポリエステル系繊維補強層付塩化ビニル系ホース		φ 23 以下
	ビニロン繊維補強層付 EPDM 系ゴム系ホース		φ 23 以下
ガス管	ステンレス鋼フレキシブル管		φ 32.3 以下
電線類	電線ケーブル		325mm <sup>2</sup> 以下 / 本
			1313mm <sup>2</sup> 以下 / 開口

\*1 銅管のほかに、銅管・ステンレス鋼管 (φ 48.6mm 以下) が適用可能です。

\*2 被覆材 (後付用) を用いることのできる配管です。

\*3 被覆材 20mm 以下 (後付用) を用いることのできる配管サイズは φ 32mm 以下です。

## 構成部材

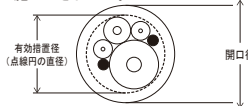


## 開口径・有効措置径

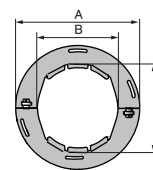
品番	開口径 (mm)	開口面積 (mm <sup>2</sup> )	有効措置径 (mm)
NPQ50KK	55	2,375	27
NPQ75KK	80	5,024	55
NPQ100KK	110	9,499	75
NPQ125KK	135	14,307	100
NPQ150KK	160	20,096	125

▲注意

●有効措置径 (点線円の直径) は、貫通している配管等の最大外径を指します。規定値を超えると、「押さえプレート」が施工できません。



## 押さえプレート内外径



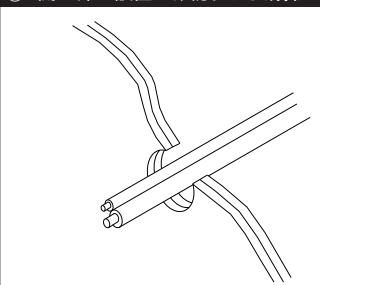
貫通している配管等が多い場合はプレートのツメ部をCまで折ることが出来ます。

品番	寸法 (mm)		
	A	B	C
NPQ50KK	95	30	35
NPQ75KK	120	55	60
NPQ100KK	150	80	90
NPQ125KK	175	105	115
NPQ150KK	200	130	140

# ● 片壁・施工手順 (例：断熱被覆銅管)

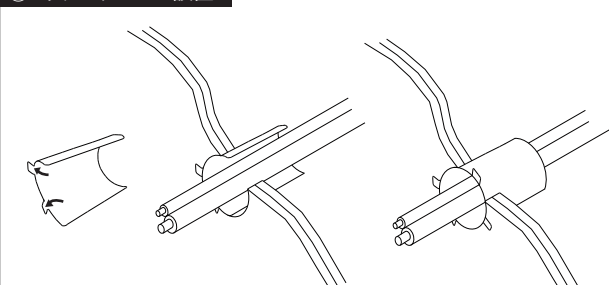
⚠️ 開口面積、配管・ケーブル占積率および壁厚等が認定条件に適合していることをあらかじめご確認下さい。

## ① 開口部の設置・確認および清掃



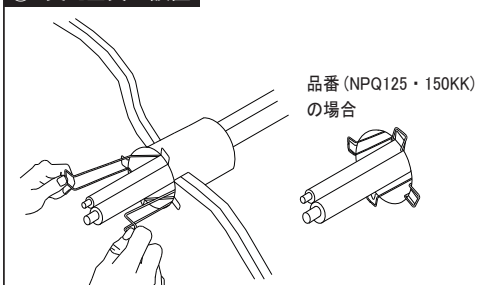
本紙表面の「適合開口径」を参照し、きれいな円状になるように、開口部を設けます。その後、所定の配管類を設置します。

## ② ラクスリーブの設置



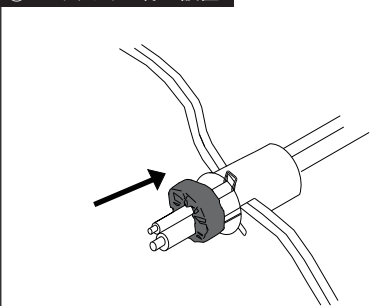
ラクスリーブのフックツメを折り曲げて開口内部に1枚挿入します。開口部内のスリーブと対になる様に、もう1枚のラクスリーブを開口面一まで押し込みます。

## ③ 支え金具の設置



支え金具を配管のまわりにセットし、開口部に挿入します。品番 NPQ50・75・100KK の場合は支え金具1個、NPQ125・150KK の場合は支え金具が十字になるように2個挿入します。

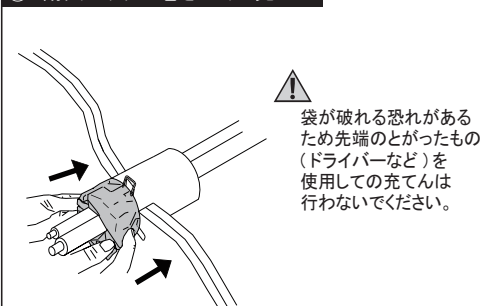
## ④ バックアップ材の設置



バックアップ材を配管周囲に巻きつけて開口部に押し込みます。

※バックアップ材は容易に変形します。また、端末は施工時に重なっても問題ありません。切断した場合、切断面をビニールテープ等補強してください。

## ⑤ 耐火パッキの巻きつけと充てん



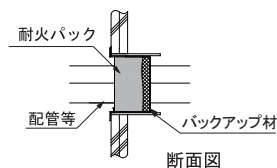
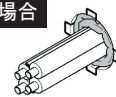
⚠️ 袋が破れる恐れがあるため先端のものがつたもの(ドライバーなど)を使用しての充てんは行わないでください。

耐火パッキを配管周囲に巻きつけ、押し込みながら充てんしていきます。このとき、配管状況や形状に合わせて耐火パッキを変形させ充てんしてください。(配管の隙間にも耐火パッキがなじむようにしてください。)

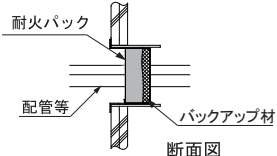
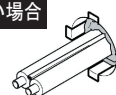
## ⑥ 耐火パッキ充てん状況の確認

配管量(占積率)によって、耐火パッキの充てん状況が変わります。

配管量が多い場合

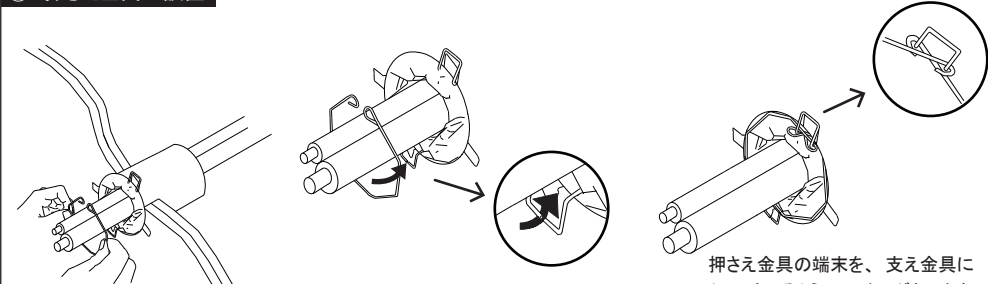


配管量が少ない場合



配管量(占積率)によって、壁面と防火措置面との間に段差が生じますが、防火性能上の問題ははありません。

## ⑦ 押さえ金具の設置

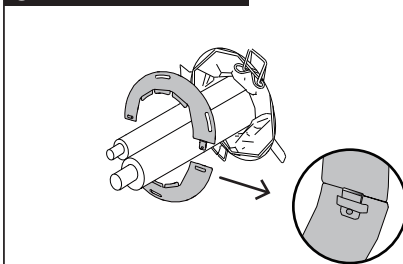


押さえ金具の端部を拡げて配管をはさみ込み、開口部へ押し込みます。

押さえ金具を支え金具と開口の間に挿入します。

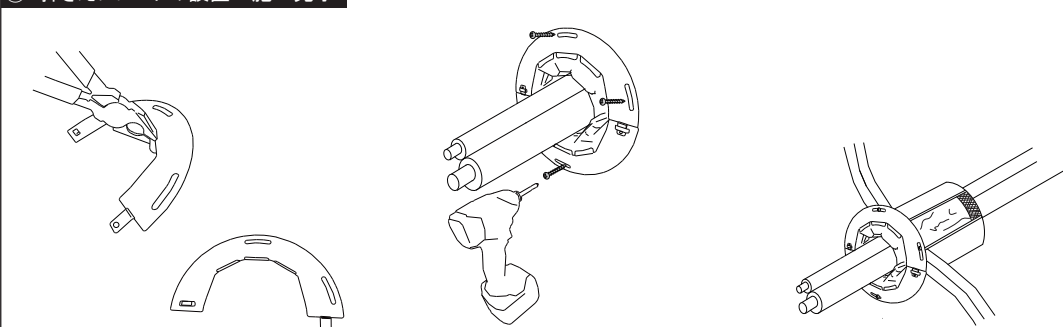
押さえ金具の端末を、支え金具にクロスさせるようにフッキングさせます。押さえ金具が耐火パッキに接して十分に開口内に収まっていることを確認してください。

## ⑧ 押さえプレートの設置



プレートの接合部が表面になる様に配管をはさみ込んでプレートを組み合わせます。

## ⑨ 押さえプレートの設置・施工完了



配管量が多い場合はプレートのツメ部を折り曲げて下さい。曲げた際の寸法は本紙表面を参照ください。

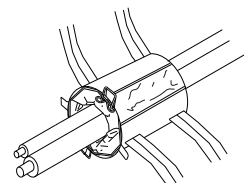
プレートのビス穴が支え金具とスリーブのツメに重ならないことを確認し、ビス留めしてください。支え金具、押さえ金具により壁面から若干浮きますが、性能上問題ありません。

4箇所ビス留めして完成です。

## ★ 応用施工・中空壁

本製品は中空壁(壁厚:125mm以下)にも施工することが出来ます。中空壁へ施工する際はバックアップ材、押さえプレートは必要ございません。詳しくは別資料:国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

国土交通大臣認定  
PS060WL-0862  
PS060WL-1063  
PS045WL-1019



技術事項のご相談・お問い合わせは

# 古河テクノマテリアル

防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号

TEL : (0463)24-9341 FAX : (0463)24-9346

URL : <https://www.furukawa-ftm.com>